

2024年度 委員会・地区支部 活動報告書

委員会・地区支部（串木野・日置地区支部） 委員長・地区支部長（迫田 修幸）

活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの流行は殆どみられなくなっているが、感染防止に留意しながら地区支部研修等の開催を検討・準備し、地区支部会員の社会福祉士としての資質の向上や会活動に対する理解・意識の向上が図られるように努める。 また地区支部会員のみを対象とした活動だけではなく地域貢献活動（福祉従事者を対象とした研修会の開催、無料相談会の開催等）にも取り組み、福祉従事者や地域住民等への支援や社会福祉士の認知度の向上が図られるよう努める。 ・鹿児島県社会福祉士会（以下、「会」）に入会していない社会福祉士への入会を呼びかけ会員増加を図ることで地区支部活動の活性化や会の組織強化につなげられるよう努める。 ・いちき串木野市・日置市の各協議会・委員会等への委員の推薦依頼があった場合は積極的に対応し、社会福祉士として行政や関係機関へ協力するよう努める。 	
具体的活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度はオンライン形式による鹿児島地区支部との合同研修を昨年7月に開催し、また忘年会・研修会（当地区支部での単独開催を2回）を開催したが、今年度は当地区支部単独で集合形式での研修会（計3回）と忘年会を開催した。 一方、地区支部総会の開催も計画していたが諸般の事情により集合形式では開催せず、地区支部会員へ関係書類を送付し質問や意見等を募る形式を採った。会員からの質問や意見等は特に無かった。 ・役員会は主にLINEを活用し、研修会等の協議や委員長・地区支部長会議の報告、県事務局への提出書類の確認、地区支部選出理事との意見交換等を随時行なった。 	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地区支部会員の資質向上や地区支部会員間のネットワーク形成・拡大を図ること、入会していない社会福祉士の入会促進に努めることが必要であることは現在も変わらない。特に新規入会者が少ないため、社会福祉士の有資格者への入会促進に力を入れたい。 ・新型コロナウイルスの流行は殆どみられなくなっているが、新型コロナウイルスの感染防止対策を取りながら集合形式での会議・研修会等の開催を検討し、必要に応じてオンライン形式による会議・研修会等の開催も検討していきたい。 また他の地区支部や他団体との合同研修等の開催についても必要に応じて検討したい。 	
委員会・研修会等開催状況	主な内容	
7月8日（金） 〈文書の発信日〉	地区支部総会の開催に代わる地区支部活動関連資料の送付と内容確認のお願い・質問や意見等の受付 ※地区支部会員へ向けて書面にて実施	
7月19日（金）	研修会「この場所で安心して暮らしたい ～居住支援について考えてみませんか～」 （講師：前田健吾会員 【社会福祉士・いちき串木野市福祉課社会福祉係 技師補】 [いちき串木野市にて]	

<p>11月30日（土）</p>	<p>○研修会「障がいを抱える人たちへの支援とは ～就労支援を通して見えるもの・感じること～」 （講師：谷口和彦氏【社会福祉士・一般社団法人福 City 就労継続支援A型事業所 kitchen 後楽園 施設長兼サービス管理責任者】）</p> <p>○忘年会 〔いずれも日置市伊集院町にて〕</p>
<p>3月21日（金）</p>	<p>研修会「みくろ？まくろ？ソーシャルワークの可能性 ～ピアサポーターと相談支援専門員の協働～」 （講師：新川昇一郎氏【精神保健福祉士・社会福祉士 株式会社ピアブルーム鹿児島 福祉相談支援センターぱらそる 代表取締役】 岡元陽子氏【株式会社ピアブルーム鹿児島 福祉相談支援センターぱらそる ピアサポーター】） 〔日置市伊集院町にて〕</p>